

## 令和6年度 仙台市健康福祉局主要事業（当初予算）

令和6年度予算額（令和5年度当初予算額）

### 障害者保健福祉の推進

(1) 障害理解の促進と権利擁護の推進	43,554 千円	(42,488 千円)
①障害者差別解消	18,825 千円	(19,600 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たにポータルサイトを構築し、庁内外の障害福祉イベント・関連事業情報、障害のある方が働いている常設店舗や事業所ECサイト等の情報を集約することで、各事業間のつながり・波及効果を生み出す「障害理解普及の入口」とする。【新規】</li> <li>障害当事者講師による企業・団体向け「障害理解サポーター養成研修」の対象を小・中学生まで拡大する等、各種啓発を行う。</li> <li>改正障害者差別解消条例に基づき障害理解の普及啓発を行う。</li> </ul>		
②パラリンピックを契機とした障害理解・交流促進	5,702 千円	(5,580 千円)
障害者スポーツの普及や競技力向上、市民への啓発イベント等を通じ、パラリンピックを契機とした障害理解のさらなる促進を図る。		
③芸術活動を通じた障害者の生きがいづくり【新規】	2,067 千円	( — )
公募展への助成をするとともに市役所本庁舎の仮囲いをアート展示に活用することで、市民への障害理解を図る。		
④精神保健福祉対策	16,960 千円	(17,308 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患に対する正しい知識と理解をもった「心のサポーター」を養成し、地域における市民の見守りや支え合いを広げ、精神疾患の予防や早期発見・早期治療を推進する。【新規】</li> <li>精神障害のある方からのこころの相談への対応を行うほか、精神科病院への実地指導や措置入院に関する対応を行う。</li> </ul>		
(2) 障害児支援の充実	7,665,651 千円	(6,831,055 千円)
①発達評価体制強化	574 千円	(778 千円)
発達障害に関する医療相談をはじめ、発達相談支援センターの評価体制を強化する。		
②発達相談・支援総合情報提供	416 千円	(413 千円)
発達に関する相談窓口や支援施策等の情報を網羅したパンフレットを作成する。		
③障害児施設給付・措置	6,780,734 千円	(6,019,187 千円)
放課後等デイサービス等の障害児通所給付・障害児入所給付・措置委託等を行う。		
④児童発達支援センター運営支援	4,103 千円	(6,762 千円)
⑤児童発達支援施設運営管理	658,185 千円	(653,493 千円)
⑥発達障害児緊急対応	1,825 千円	(1,825 千円)
行動障害等を有する発達障害児の緊急一時保護を行うため、年間を通じてショートステイ実施事業所に受け入れ枠（1人分）を確保する。		
⑦発達障害児者支援体制整備	104,238 千円	(89,907 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>相談の中でより頻回な相談支援が必要な場合の繋ぎ先である「自閉症児者相談センター（ここねっと）」の相談件数増への対応のため、相談員の増員を図る。【新規】</li> <li>発達障害者支援地域協議会、発達障害児者自立支援事業等を実施する。</li> </ul>		
⑧医療的ケア児者等支援体制整備	1,416 千円	(1,130 千円)
重症心身障害・医療的ケア児者の現状と課題を共有し、医療・福祉・教育等のネットワークを構築することで、支援体制の整備を図る。		
⑨就学前療育支援推進	82,202 千円	(57,560 千円)
発達に不安を抱える未就学児やその保護者への支援体制をさらに整えるため、地域の保護者や施設からの相談及びペアレント・プログラムや初期支援プログラムを活用した啓発・相談を実施する。		
⑩児童発達支援センター障害児等保護者支援推進事業【新規】	31,958 千円	( — )
児童発達支援センターにおいて、通常の療育時間を延長し児童の療育を実施することで、障害児（重症心身障害児・医療的ケア児等）の保護者の就労支援を行う。		

(3) 地域生活支援体制の充実	7,515,293 千円	(6,966,431 千円)
①地域生活支援拠点整備	13,740 千円	(13,092 千円)
在宅で生活する障害児者及びその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、緊急時の相談支援及び受け入れ等のコーディネートを行う。		
②相談支援事業	424,922 千円	(367,387 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児者と家族が安心して地域で生活できるよう各種相談事業を実施する。</li> <li>・複合的な課題を抱える障害児者やその家族への支援を強化するとともに相談支援事業所等の人材育成を行い、相談支援体制の充実を図る基幹相談支援センター事業を実施する。</li> </ul>		
③重度障害者コミュニケーション支援	25,132 千円	(25,819 千円)
意思表示に高い困難性を持つALS（筋萎縮性側索硬化症）等の進行性難病患者や重度障害者のコミュニケーション支援を実施する。		
④視覚障害者支援	34,740 千円	(34,186 千円)
視覚障害者が安心して地域で暮らすことができるよう、相談支援、就労支援及び余暇活動支援等の支援を行うほか、生活訓練や交流会・研修会を実施する。		
⑤高次脳機能障害者支援	311 千円	(319 千円)
脳損傷の後遺症である高次脳機能障害者及びその家族が安心して地域で生活できるよう、総合相談や普及啓発を含めた研修会などを実施する。		
⑥入院時コミュニケーションサービス	643 千円	(350 千円)
意思疎通の困難な入院中の重度障害者に対し、医療スタッフとのコミュニケーションを円滑にするための支援員の派遣を行う。		
⑦在宅重度身体障害者訪問入浴サービス	93,408 千円	(90,727 千円)
入浴に全面介助を必要とする重度の身体障害者、難病患者等の自宅に訪問入浴車を派遣し、入浴の介助を行う。		
⑧医療的ケア障害児者等支援	21,345 千円	(17,493 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児者や重症心身障害児者等が在宅で安心した生活を送ることができるよう、医療機関や介護老人保健施設に対して医療型短期入所事業所の開設支援を行う。【新規】</li> <li>・医療的ケアを要する障害児者が円滑に利用できるよう医療型短期入所事業所の空床の常時確保や、事業所間連携強化等のためのコーディネーターを配置するほか、福祉型短期入所事業所に看護師を配置する費用を補助する。</li> </ul>		
⑨医療的ケア障害者対応型グループホーム運営費補助	6,956 千円	(6,820 千円)
医療的ケアが必要な重症心身障害者が、住み慣れた地域で生活していくことができるようグループホームの運営費を補助する。		
⑩精神障害者地域社会交流促進	7,893 千円	(7,897 千円)
精神疾患や精神障害に対する偏見や差別の解消を図るため、精神障害者が自らの病の体験等を発信する講演会を開催する。		
⑪精神障害者家族支援	994 千円	(994 千円)
精神障害者の家族が抱える悩み等に対応するため、ピア家族相談員を養成する研修を実施するとともに、相談員を活用した相談の機会の確保を図る。		
⑫精神科救急システム整備	59,311 千円	(58,746 千円)
24時間365日対応の精神科救急医療体制を県・市共同で運営実施する。		
⑬自殺総合対策推進	48,946 千円	(47,564 千円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺対策の重点対象である若年者（39歳以下）や勤労者の自死抑制に向け、若年者向けの相談窓口やゲートキーパーに関する普及啓発、職場内ゲートキーパー養成に取り組むほか関係機関間の連携強化に向けた官民協働プラットフォームを設置する。【新規】</li> <li>・自殺対策推進センターを設置し、保健・福祉・医療・労働・教育・警察等関係機関と連携を図りながら、自死予防についての普及啓発や人材育成、ならびに自死を考えている方や自殺未遂者など幅広い方への相談支援に取り組む。</li> <li>・若年者の身近なコミュニケーションツールであるSNSを活用し、様々な困りごとや悩みに関する相談窓口を通年で設置し、相談体制の充実を図る。</li> <li>・自死の予防を目的に弁護士等による対面相談を行い、対面相談後に困りごとの解決に向けたソーシャルワーカーによる伴走型支援を提供する。</li> </ul>		

⑭ひきこもり者地域支援 61,275 千円 (86,433 千円)

- ・ひきこもり状態にある本人やその家族に対して、電話・訪問等による相談支援や、関係機関との連携、ひきこもり青少年等に対する就労、社会参加プログラムの提供により適切な支援を行う。また、ひきこもり支援ニーズ調査で把握したひきこもり状態にある方への相談対応を強化するため、ひきこもり地域支援センターの人員を増員し、体制強化を図る。【新規】
- ・ひきこもり状態にある方や困難を抱える若者を対象にした、オンラインの居場所を開設し、同じ悩みを抱える方同士の交流や専門職による個別相談を提供する。あわせて、不登校児童生徒に向けては、オンラインを活用した居場所及び学習支援を提供する。【新規】
- ・ひきこもりに関する支援情報について、ポータルサイトや広報物による発信に取り組むほか、ひきこもり支援ニーズ調査で把握したひきこもり状態にある方に対して、個々のニーズに応じた支援を行うためのフォローアップを行う。【新規】
- ・外部有識者で構成するひきこもり支援体制評価委員会において、支援ニーズ調査結果を踏まえた支援プログラムの検討を行うほか、ひきこもり支援に関するネットワーク形成に向け、医療、保健福祉、就労分野等の関係機関によるネットワーク会議を行う。【新規】
- ・中高年ひきこもり者が、安心して対人交流できる居場所を提供し、状態にあわせた支援プログラムの充実を図り、社会参加を促進する。
- ・ひきこもり状態にある子や障害のある子を介護する親を対象に学習会や相談会を実施し、親なきあとの経済的な悩みや不安の解消を図る。

⑮難病患者サポート 14,408 千円 (14,414 千円)

各区の看護師による訪問相談等を行うほか、難病サポートセンターにおいて、難病患者を対象とした相談支援や医療相談会、ピアカウンセリング等を実施する。

⑯補装具費支給等 342,768 千円 (347,389 千円)

身体障害者等を対象に、補装具等の購入・修理等費用を支給するほか、難病患者等に対して補装具等の賃借費用を助成する。

⑰障害者自立支援医療給付 3,813,839 千円 (3,584,928 千円)

心身の障害を除去・軽減するための医療費の自己負担額の一部を給付する。

⑱指定難病医療費助成 2,544,662 千円 (2,261,873 千円)

指定難病患者に係る医療費の自己負担分の一部を助成する。

**(4) 社会参加と就労の充実 168,773 千円 (164,644 千円)**

①障害者就労支援センター運営 59,600 千円 (59,600 千円)

求職者や企業等に対し、相談、援助、啓発等を行うことにより、障害者の就労を総合的に支援する。

②障害者就労プロモート 1,484 千円 (1,487 千円)

企業や市民の障害者就労に関する理解を深め、障害者雇用促進を図ることを目的として、「障害者雇用促進セミナー」を開催する等の取組みを行う。

③障害者施設自主製品販売促進事業助成 6,843 千円 (6,867 千円)

障害のある方が製作する製品の販売促進を目指し、販売機会の提供や障害者の販売業務訓練等を実施する。

④障害者在宅就労支援 1,402 千円 (1,402 千円)

在宅就労に必要な知識・技術取得のためのセミナーを実施する。

⑤障害者雇用促進 11,805 千円 (12,003 千円)

障害者雇用の促進のため、知的障害者チャレンジオフィスの運営を行う。

⑥福祉的就労ステップアップ 6,364 千円 (6,381 千円)

福祉事業所利用者の工賃向上のため、自主製品の販売促進、販路拡大等の支援を行うほか、福祉事業所が企業等からの業務受注に向けたマッチング支援を行う。

⑦障害者スポーツ振興 77,186 千円 (72,348 千円)

⑧重度障害者等就労支援 4,089 千円 (4,556 千円)

常時介護を必要とする重度障害者等のうち、働く意思と能力がありながら就労できない方に対し、通勤中・就業中にも日常生活に係る支援を行うことで、就労機会を拡大し、障害者の社会参加を促進する。

(5) 安心して暮らせる生活環境の整備	23,438,747 千円	(21,856,967 千円)
①介護給付・訓練等給付 ホームヘルプ, 生活介護等の介護給付及び就労継続支援, グループホーム等の訓練等給付を行う。	22,834,630 千円	(21,124,685 千円)
②精神障害者社会復帰施設運営管理 障害福祉サービス事業所(3ヶ所)の運営管理を行う。	174,284 千円	(173,377 千円)
③障害者小規模地域活動センター運営費補助	157,673 千円	(173,578 千円)
④障害福祉サービス事業所等整備費補助 ・グループホーム整備促進のため, 自動火災報知機やスプリンクラー, 耐火隔壁等の整備に要する費用の補助を行う。 ・グループホームにおける強度行動障害者の受入促進のため, 入居者の行動特性に応じた補強や, 設備の補修等に要する費用の補助を行う。	7,357 千円	(211,561 千円)
⑤グループホーム開設支援 仙台市グループホーム連絡会が実施するグループホームの整備促進及び支援の質の向上を目的とする研修にかかる経費の補助を行う。	300 千円	(300 千円)
⑥強度行動障害支援者養成研修費補助 グループホーム等の職員を対象に研修受講費及び代替人件費を補助し, 事業所での強度行動障害者の支援体制整備を促進する。	1,170 千円	(1,170 千円)
⑦障害者施設等の維持補修・改修等 ・太白・宮城野障害者福祉センター空調機更新工事 ・泉ひまわりの家長寿命化工事 ・その他維持修繕, 備品購入等	170,481 千円	(131,440 千円)
⑧障害福祉分野のICT導入モデル事業 障害福祉サービス事業所等における業務効率化及び職員の業務負担軽減を推進するため, 障害福祉サービス事業者等がICTを導入する際の経費を助成する。	12,750 千円	( — )
⑨障害福祉サービス事業所等環境整備費補助 介護負担軽減・労働環境の改善・生産性の向上等を図るため, 障害者支援施設等がロボット等を導入するための経費を助成する。	6,300 千円	(8,350 千円)
⑩障害福祉サービス人材確保・定着 ・求職者や学生が障害福祉分野の仕事を知る「入口」のツールとして, お仕事紹介リーフレットを作成し, 各種学校や関係機関に配布する。【新規】 ・障害福祉に携わる人材の確保と定着を目的として, 事業所向けセミナーや障害福祉事業所職員及び学生を対象とした交流イベント等を開催する。	2,061 千円	(624 千円)
⑪障害者相談支援事業所(ぴぼっと支倉)大規模改修	71,741 千円	(31,882 千円)
<b>(6) 障害福祉事業関連事務の効率化【新規】</b>	<b>156,166 千円</b>	<b>( — )</b>

各区等の事務の本庁集約とデジタル技術活用による効率化を進め, 負担を軽減することで, 適正な事務執行と市民サービスの向上を図る。